

## 濃密な五日間

京都大学 理学部生物学科三年 細川智佳  
(配属先：体軸動態研究チーム)

インターンシップに応募したきっかけは、三回生の一月に研究室を決めるときの参考にしたと思ったからという簡単な理由でした。ただ、大学の実験で学ぶ以上のことを学びたい、研究に没頭できる環境で研究をしてみたいという思いに応えてくれそうだと感じたため、参加したいと強く思いました。各研究チームに所属するのは2～3名という、少人数で研究者に指導してもらえる環境にも魅力を感じました。

実際に参加してみて、思っていたよりも多くのことを学べたと感じています。漠然と、研究者になりたいけれど、やっていけるのだろうか……と不安を抱いていましたが、研究者として生きていくために必要なスキルや考え方などを、講義や研究室での議論などを通じて教えていただきました。オープンラボ（他の研究チームのラボを見学できる企画です）や懇親会で、自分の所属するラボ以外のチームリーダーや研究員の方とお話してきたことも、非常に有意義でした。

また、配属先の研究チームのラボでも、念入りの事前準備をしていただいたり、朝早くから夜遅くまでつきっきりで面倒を見ていただいたりして、毎日非常に興味深く刺激的な五日間となりました。最後の発表の準備をたくさん手伝っていただきましたし、発表本番もあたたかく見守っていただき、感謝の念がつきません。

最後になりましたが、インターンシップに関わってくださった先生方、スタッフの方々に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。



研究発表会での細川智佳さん（左）